

【NEWS RELEASE】

2021年9月30日

各 位

株式会社三井住友銀行

ルートインジャパン株式会社に「SDGs推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、ルートインジャパン株式会社（代表取締役社長：永山 泰樹）に「SDGs推進融資」を実施いたしました。

「SDGs推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、ルートインジャパン株式会社については、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

① ホテルレストランにおけるフードロス削減、顧客を巻き込んだ環境保全の促進

目標 12 つくる責任 つかう責任	12.3 2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人あたりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食品ロスを減少させる。
目標 12 つくる責任 つかう責任	12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用および再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。
目標 6 安全な水とトイレ を世界中に	6.4 2030年までに、全セクターにおいて水利用の効率を大幅に改善し、淡水の持続可能な採取および供給を確保し水不足に対処するとともに、水不足に悩む人々の数を大幅に減少させる。

② 地方でのホテル開業・運営による地域経済活性化への貢献

目標 8 働きがいも 経済成長も	8.9 2030年までに、雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業を促進するための政策を立案し実施する。
目標 11 住み続けられる まちづくりを	11.3 2030年までに、包摂的かつ持続可能な都市化を促進し、すべての国々の参加型、包摂的かつ持続可能な人間居住計画・管理の能力を強化する。

③ 女性活躍推進や従業員の育成によるディーセントワークの促進

<p>目標 8 働きがいも 経済成長も</p>	<p>8.5 2030 年までに、若者や障がい者を含むすべての男性および女性の、完全かつ生産的な雇用および働きがいのある人間らしい仕事、ならびに同一労働同一賃金を達成する。</p>
---------------------------------	--

三井住友銀行では、「SDGs 推進融資」により、本業を通じ、SDGs が達成される社会の実現に貢献をしております。



「ホテルルートイン」ブランドをはじめ 4 ブランド 323 店舗を 46 都道府県で運営(2021 年 9 月現在)。都市圏のみならず地方へ多く出店を進めている。

一部のホテル内外に託児所を設置し、従業員に託児サービスを無償提供しており、雇用促進・労働環境の向上につながっている。

社内に研修機関を設け、立場や目的に応じた様々な研修プログラムを、集合型・派遣型・オンラインなどの形で従業員に提供している。

<ご参考>

※ SDGs とは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を 2030 年までに目指す 17 の目標と 169 のターゲットのことです。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。